

さいたま市長10月定例記者会見

平成18年10月13日（金曜日）

午前11時開会

○ 進 行 記者クラブの皆さん、こんにちは。ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

それでは、幹事社の読売新聞さん、進行方よろしくお願いたします。

○ 読売新聞 今月の記者クラブ幹事社を務めます読売新聞と申します。

きょうの発表について、市長の方から説明よろしくお願いたします。

○ 市 長 それでは、皆さんこんにちは。定例の記者会見を始めさせていただきます。

それでは、議題1、さいたま市文化賞受賞者の決定についてご説明をいたします。

さいたま市では、文化芸術またはスポーツの分野において、顕著な功績のあった市民または市にゆかりのある方に対しまして、「さいたま市文化賞」を贈ります。

今回、第3回目の表彰となります。

受賞者は、人形作家の石川潤平氏、同じく人形作家の鈴木賢一氏の2名の方となりました。

表彰式は、平成18年11月8日（水）午前11時より、ブリランテ武蔵野におきまして行います。サッカーワールドカップドイツ大会に日本代表として出場しましたJリーグ浦和レッズの小野伸二、三都主アレサンドロ、坪井慶介の3選手に対しましては、スポーツ特別功労賞を贈呈をいたします。また並びに、市政の振興発展に尽力され、その功績が顕著である23名と、それから株式会社三菱自動車フットボールクラブとNTTスポーツコミュニティ株式会社の2団体に贈呈をする市政功労賞の表彰とあわせて行います。なお、当日浦和レッズの3選手は日程を繰り合わせていただいて、出席をいただけるということになっておりますので、ぜひ取材方をよろしくお願をいたします。

議題1は、以上であります。

続きまして、議題2、さいたま市商工見本市（コラボさいたま2006）

の開催についてご説明をいたします。

さいたま市商工見本市「コラボさいたま2006」を昨年に引き続き、さいたまスーパーアリーナで11月2日(木)、3日(金)、そして4日(土)の3日間開催をいたします。

「未来発見! さいたま市の企業」、これをテーマに、ビジネスチャンスの拡大、企業間の交流などを目的に、市内外206の企業が出展をさせていただきます。

会場では、「未来発見ゾーン」、「精密機械や先端技術のゾーン」等の出品目で分類をした5つのゾーニングによるブースに分けまして、技術や製品のPRを行っています。

基調講演や特別講演等では、IT関連、環境、産学官連携についてのさまざまな取り組みについて、熱く語っていただきます。

中でも、「環境に優しい新素材『米ぬかセラミックス』の開発と応用」と題する『米ぬかセラミックス』と伝統の岩槻人形とのコラボレーションは、財団法人さいたま市産業創造財団が主管をする講演であります。

ステージでは、先端の技術を駆使をして製作をされた新型巡回警備ロボット「ガードロボD1」を初めとした、3体の警備ロボのデモンストレーションを1日2回実施をいたしますが、この合間に警備ロボが模擬的に展示ホールを巡回警備いたしますので、来場者の皆様にも十分にお楽しみをいただけると考えております。

また、展示ホールにおいて、来場者が出展企業による技術講習を体験することのできる「ものづくり体験教室」を3日、4日の2日間開催をし、毎年好評の電子オルゴールづくり教室などを実施をいたします。

ご来場いただいた多くの皆様に最新の技術や、また製品をごらんいただき、意欲と技術のあるさいたま市の企業に、ぜひ声援を送っていただきたいと思っております。

以上で、議題についての説明を終わらせてもらいます。

また、本日は、お手元に10月15日(日)に開催をいたします「さいたま市消防フェア2006」のチラシをご用意をしております。大宮アルディージャの選手による一日消防長や各種体験コーナーなどを予定をしておりますので、また取材方をよろしくお願いをいたします。

とりあえず以上でございます。

- 読売新聞 現在の説明について、何か質問のある方、ご自由にどうぞ。
では、スポーツ功労賞なんですが、これまで市内のＪリーグの選手でこれ受賞している選手はいるんでしょうか。
- 市長 いますね。ちょっと待ってください。スポーツ功労賞の過去の受賞者ですが、このスポーツ功労賞というのはどのような人が対象になるのかということちょっと申し上げますと、一つとしてオリンピック競技大会、二つとしてパラリンピック競技大会、三つとしてサッカーワールドカップ大会に出場した方で、対象者は本市の在住、在勤、在学者、もしくは市内の学校を卒業して、在学中に本市に在住していた者となっております。
過去の受賞者で申し上げますと、平成１６年に開催をされた第２８回のアテネオリンピックに出場した陸上競技から２名、サッカーの女子から２名、サッカー男子から２名、バドミントンから１名と２００４年アテネパラリンピック競技大会に出場した車いすバスケットボール男子から１名の計８名を表彰をしています。
第２８回アテネオリンピックでは、陸上競技では杉森美穂選手、田中めぐみ選手、サッカー女子で山郷のぞみ選手、安藤梢選手、サッカー男子で田中マルクス闘莉王選手、それから田中達也選手、それからバドミントンでは山田英孝選手、２００４年のパラリンピックでは菅澤隆雄選手、このような方が受賞されています。
- 読売新聞 この賞というのは、さいたま市になってからできた賞なんですか、それとも旧市であって、それを引き継いだものなんんでしょうか。
- 市長 スポーツ特別功労賞というのはさいたま市になってからできた賞です。その前もスポーツ功労というのはありました。これは、各学校ですとかね、そういうので体育賞というのはありましたけど。
- 読売新聞 厳しい見方だけど、余り活躍の印象がないんですけども、出たことに意義がある……
- 市長 出たことに意義があると。なかなかオリンピックに出るのは大変ですよ。この辺で国体が今余り騒がれないけど、僕らのころは国体選手というのはすごいと思っていますもんね。今だって国体に出る選手というはかなりのレベルですよ。ただ、余りもてはやされなくなっちゃったね、国体選手が。

時代の移り変わりですかね。

○ 読売新聞

ほか、いかがでしょうか。

じゃ、ないようなので、代表質問に移ります。

代表質問、3点伺います。一つは、9月22日付で各局へ通知した平成19年度予算編成方針で、平成19年度は現時点での見通しとして約90億円の歳出超過ということになっていますが、行政改革推進プランの中で19年度は当初185億円の歳出超過という予想でした。数字の上では95億円の抑制が図られたということになりますが、それに伴う Manifesto の進行への影響、もしくは工程表に変更はあるのでしょうか。

もう一点は、広告料収入という点で、最近よく言われているのがネーミングライツというのがありますけれども、さいたま市はそれを導入する考えはありますでしょうか。

もう一点は、2泊3日でしょうか、中国の方へ出張すると伺っていますが、その目的と日程はどうなっていますでしょうか。お願いします。

○ 市長

それでは初めに、Manifesto の進行についてお答えをいたします。

お尋ねのそれぞれの歳出超過額の算定は、当該算定時点における景気の動向など、社会経済情勢や地方財政計画を初めとする国の動向、また本市の行政改革の取り組み状況や普通建設事業などの進捗状況等を勘案をして推計をしたものでございます。

平成18年2月に策定いたしました行政改革推進プランでの歳出超過額185億円と平成19年度予算編成方針時点、この9月に推計をした歳出超過額90億円の相違につきましては、幾つかの事業に増減がありますけれども、主に建設工事等の工期の見直しなどによる（仮称）さいたま市民医療センター整備事業で約60億円、それから鉄道高架推進事業で約28億円程度が、これは20年度以降の事業費として見込まれることによるものであります。

次に、Manifesto への影響ですけれども、これまで繰り返し述べてまいりましたように、Manifesto 工程表の着実な実施を市政の最重要課題として位置づけ、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

平成19年度予算編成においては、都市経営戦略会議の予算集中審議で

決定をした重要政策事業に予算を重点的に配分するなど、マニフェスト行動計画が着実に実施をできますよう予算編成を行ってまいり所存であります。

次のネーミングライツについてですが、サッカー場として利用している施設の例としては、政令市では横浜市や千葉市、また仙台市が導入しております。全国的にも厳しい財政状況の中、野球場や文化施設などにも導入する自治体もふえてまいりましたが、これまでの事例を見ますと、企業側との契約期間等、条件設定に際しての課題などもあり、募集に当たっては苦労されているケースも見受けられます。

しかしながら、新たな財源確保の面から見て、ネーミングライツは十分検討に値するものでありまして、また行政改革推進プランにおいても具体的取り組みとして掲げておりますことから、現在大宮公園サッカー場につきましては、先進事例を参考に、施設の改修に合わせまして、ネーミングライツの導入を検討しているところでございます。

それから、質問の3点目、鄭州市訪問ですが、ことしはさいたま市、旧浦和が鄭州市とは最初に姉妹締結を結んだわけですが、市と鄭州市は友好都市を締結して25周年に当たりますので、それを記念した訪問ということになります。

日程的には平成18年10月19日（木）から24日（火）までということで、目的は鄭州市との友好都市締結25周年記念事業への参加ということになります。

内容につきまして申し上げますと、一つは鄭州市内の鄭州旅遊職業学院において、25周年を記念した講演を私が行います。それから記念植樹、それから中学校（モデル校）の視察、表敬訪問等々であります。

また、中国の盆栽園（常州市）の視察も行われる予定です。

市報で募集した市民、市長を含めて27名がこの視察訪問団として参加をいたします。

なお、市議員さんにつきましては、20日の25周年を記念する行事に参加するために訪中するということで、2泊3日というふうに向っております。大変厳しいスケジュールなんですけど、まさにその式典に参加するためだけの訪中というふうに向っております。

以上です。

- 読売新聞 今の内容について質問ある社、お願いします。
 ネーミングライツなんですけども、大宮サッカー場についてということなんですけども、検討の今のレベルなんですけども、例えば企業の業種を絞っているというか、どのあたりまで進んでいるんでしょうか。
- 市 長 今検討の中身ですが、契約期間、それから契約金額、名称への条件づけ、こういう募集条件等について現在先進事例の情報収集を行っているという段階であります。やはり企業選定につきましても、ある意味で公益的な企業が応募してくれればいいなというふうに思っています。
- 読売新聞 例えばアルディージャはNTTですから、そのライバル社だとか……
- 市 長 そうですね。そういうふうな関連のね、あれがあるといいなと思っ
 ますけどね。
- 読売新聞 市長の中では、例えば企業名つけるにしても、例えば大宮公園なんで、大宮という名前をつけてほしいとか、そういった希望はあるんでしょうか。
- 市 長 そうですね。大宮公園サッカー場というのは、ご承知のとおりですね、東京オリンピックのサッカー会場としてつくられたという大変歴史のある日本初のサッカー専用スタジアムなんです。また、埼玉県初の県営公園であります大宮公園の中にあると、そういう歴史と伝統のある施設と認識しておりますね、そのようなことからネーミングライツを導入する場合、大宮という名前を残すことにつきましては、募集条件の中で十分検討してまいりたいと。まだ必ずつけてくれという段階ではありませんけれども、十分検討に値するテーマだろうというふうに思っています。
- 読売新聞 あと鄭州の訪問で、常州、これ別の市なんんでしょうか、盆栽園の訪問なんですけども、これは盆栽関連施設への要するに参考ということになるんですか。
- 市 長 そうですね。それもそういう意味もございます。
- 読売新聞 これは、有名な場所なんですか。よくわからないんですけど。
- 市 長 僕もよくわかんないところなんですけど、ある意味では中国では有名なところだというふうに伺っています。
- 読売新聞 ほかありますか。
 なければこの代表質問以外でご自由にどうぞ。

- 日本経済新聞　　ちょっとネーミングライツの件ですね、いつごろまでにというのは大体決めてあったりするんですか、あと数年以内にとか。
- 市　　長　　そうですね。いずれにしても来年の9月には大宮サッカー場完成する予定ですから、その工程に合わせてですね、もしネーミングライツをしてそういう名前をつけるとすれば、看板、その他のこともありますので、その工程に合わせて行いたいというふうに思っています。
- 日本経済新聞　　このサッカー場以外にも、こういった施設も対象に入れてもいいんじゃないかというようなものはあるわけですか。
- 市　　長　　そうですね。最近文化施設なんかもですね、結構ネーミングライツありますのでね、例えばさいたま市で言えば、さいたま市の持っている建物、施設の中で大きなものと言えば、例えば記念体育館とかですね、そういうようなものは非常に大きなものですね。文化センターとか、そういう文化系のもも最近ネーミングライツも多いと聞いていますので、これをきっかけにですね、そういったような該当する施設が果たしてあるのかなのか、そんなことも考えてみたいなというふうに思っています。
- 読売新聞　　駒場は……
- 市　　長　　そうですね。駒場がね、最近、あれレッズのホームなんですけれども、平成18年度の試合開催見ますと、埼スタが15試合、それから駒場が2試合なんです。いろんなキャパシティの問題で、特にレッズも採算という面からはやっぱりキャパが大きい方がいいということで、どうしても駒場は少なくなってしまうものですから、そういう状況を考えてですね、とりあえずまず大宮を始めてみて、その状況でまた考えていきたいというふうに思っています。
- 読売新聞　　まだ先の話ですけども、大宮が完成したら当然アルディージャは大宮を使うわけで、駒場のそうすると利用、80億をかけて改修して利用がなかなかなくなってくるのかなと思うんですけど。
- 市　　長　　そうですね。ある意味では、金、かなりもとはとっているような気がしますけどね。もうあれ改修して十数年たちますからね。おかげさまで駒場スタジアムと言えば、サッカーファンはみんな名前知っていますから、そういった意味での知名度、かなり上がっているんじゃないでしょうか。
- 日本経済新聞　　まだ検討中ということですけども、試算では契約金というんでしょうか、

どれぐらいのものになりますか、委託。

○ 市長 いや、どこが応募してくれるかもまだ見えていない時点なんで、ちょっとまだそれらも申しわけないんですが。

○ 読売新聞 それ以外の代表質問以外の関連で質問ある社、ありますか。

○ 埼玉新聞 盆栽関係でちょっとお伺いしたいんですが、随分とテレビの取材があったりですね、盆栽の報道が盛り上がっているんですが、盆栽の……

○ 市長 盛り上がっているんですか。

○ 埼玉新聞 ええ。報道について市長のお考え、改めてお伺いしたいんですが。

○ 市長 最近のテレビ等でですね、随分取り上げていただいて、かなり知名度が上がったのかなという感じはしますね。私もいろんなニュース番組拝見していますけれども、大宮というのは、ああ、盆栽がそういう位置づけだったのということを初めて知ったというさいたま市民の方も大勢おられるということなので、ある意味では知名度が上がったなということはありません。

報道内容等ですけどもね、これある意味では5億円という数字がひとり歩きしちやっているような段階で、また執行部と議員の意見対立というふうなことが強調されているんですけども、まだ実はそこまでいっていないというのが現状でありまして、盆栽は世界に誇れるさいたま市の文化だという一つの位置づけですね、このため盆栽関連施設はさいたま市の盆栽文化を世界にアピールできて、かつ政令市にふさわしいものにしていきたいというふうに考えています。

この高木盆栽美術館の盆栽の購入については、大宮の盆栽組合から施設の目玉として購入してほしいと、こういう提案を受けて、市としても今検討しているというさなかでありまして、現時点では何も決まっていないというのが実は現状です。

ただ、日本一とか世界一とか言われるですね、高木盆栽美術館の盆栽購入は、長期的な視点に立って見れば、盆栽村と盆栽の名品が一体となって、さいたま市の盆栽文化をさらに育成、発展させていくことができるのではないかなというふうに思っておりまして、政令市として全国に発信できる一つのいい文化なのかなという思いもあります。また、慎重に検討してまいりたいなというふうに思っています。

5億円という数字がちょっとひとり歩きをしているようなんですが、今

盆栽村にはですね、現在年間約20万人、盆栽の愛好家、また観光客が訪ねていただいています。このような名品を展示をするということによってですね、盆栽村を訪れる観光客を大幅に増加させることができるんじゃないかと、こんな思いもあります。

また、新たに盆栽関連施設をメイン会場とした盆栽展を開催する、また今これも来年の秋にオープンしますが、鉄道博物館ですとか岩槻人形会館、これも今準備中ですが、こういうふうなものとの連携で、さらに多くの方々に盆栽村へご来場いただければなというふうに思っております、これによりましてですね、物すごく大きっぱな数字なんですけども、年間15万から20万人ぐらい観光、入り込みがふえるだろうと。間をとって、仮に年間約17万人の観光客増加をしますとね、さいたま市観光振興ビジョン基礎調査という調査があるんですが、その調査によりますと、観光客一人頭、日帰りで落とすお金というのが1人5,755円なんだそうです。それを単純に計算すると、約10億円の経済効果が期待できるだろうと、そんな思いもございます。ですから、5億円というものがですね、支払いしつ放しということではなくて、費用対効果という面から考えれば、ある程度の効果が見込まれるんじゃないかな、こんな思いもあります。

- 日本経済新聞　　今のお話に関連して、観光客は何人が何人にふえるあれなんですか。15万から20万……
- 市　　長　　20万が、今20万人見えている。15万から20万ぐらいふえるんじゃないかと。
- 日本経済新聞　　35とか、そういうふうな。
- 市　　長　　そうです。約倍近くですよ。おかげさまで……
- 日本経済新聞　　それは、もう岩槻の人形会館もできた段階でということですか。
- 市　　長　　それはね、ルートとしてはですね、そういうことになります。おかげさまで大分宣伝していただいたんで、盆栽の館か盆栽センターか、よくわかりませんが、オープンすると、じゃ行ってみるかみたいなね、お客様もお見えいただけるのかなというふうに思っていますけど。
- 日本経済新聞　　でも、人形会館というのは、進捗は計画どおり進んでいるのでございましょうか。
- 市　　長　　ちょっと計画どおりいっていないんですけども、今新たな用地の選定

についてですね、大分候補地が幾つか上がって、それを今やっているという最中です。これが決まればね、すぐさままたかかれるんじゃないかなというふうに思っています。

○日本経済新聞 何か用地選定で随分滞っているような気がするんですけども、そういう点では。

○市長 一番最初に人形組合の方々へお申し入れいただいた土地の所有者がね、ちょっと何というのかな、その代理人というか、そういう方ともお話ししたんですけど、なかなかちがが明かないもんだから、それじゃというんで、別なところをね、検討しようということになりました。

○読売新聞 ほかはいかがでしょうか。

○埼玉新聞 別の話なんですけど、埼玉高速鉄道の杉野社長なんですけど、先週神奈川知事選への出馬を表明したんですけど、まだ再任されて半年ぐらいなんですけど、こういう形で、悪く見るとですね、高速鉄道の社長をほうり出して選挙に出るといふふうにもとれるんですけど、株主としてさいたま市から見るとどのようなご意見お持ちでしょうか。

○市長 そうですね、これ株主として申し上げると、やはりやっとなんで、単年度黒字が見えてきたと。杉野社長の最初のお約束は、とにかく単年度黒字になるまではやりますよと、単年度黒字になってからはまた別というふうなお話でしたから、先が見えてきたという段階、まだ黒字になっていない段階ですから、果たしてそういったことはいいのかなという思いはありますね。できればきちんとした単年度黒字を出してから、轉身されるんならね、それは個人のご自由ですから、何とも言えませんが、そうしていただければなというふうに思いましたけどね。

○埼玉新聞 後任の社長候補については、何かお考え……

○市長 まだ聞いておりません。これ上田知事が今いろいろお考えになっているようなんですけど、まだ名前等の情報は入ってきておりません。もちろん民間人だというね、前提のようです。前、副知事さんのね、リタイアした副知事さんのちょうど定位置だったんですけどね、もう上田知事ですから、そういう考え一切ないと、民間だということだけは聞いています。

○読売新聞 いいでしょうか。

○市長 はい、どうもありがとうございました。

